

# ハルニレ (アカダモ、ニレ)

ニレ科 ニレ属 (落葉高木)

学名 : *Ulmus Davidiana* 英名 : Japanese Elm



- ・葉 : 倒卵形~倒卵状だ円形、枝に互い違いにつく互生の2列生、ふちはギザギザ (二重鋸歯)  
先は急に尖る、基部は左右不ぞろい、短毛がありざらつく、葉柄がある
- ・幹 : 皮は灰褐色、縦に不規則に裂ける、樹皮から丈夫な繊維がとれる、  
皮をはぐとネバネバの樹液、「ぬれの木」 → ニレノキ
- ・冬芽 : 互生、卵形または卵状円錐形で先端は尖る、5~6の芽鱗  
仮頂芽は側芽とほぼ同形かやや大きい
- ・春に花が咲く → ハルニレ
- ・アイヌ伝説 : ハルニレは女神、最高の「火の神」、ハルニレを擦って火を得ていた